

中山間地域元気創出若者活動支援事業に係る活動状況報告

活動状況報告 (グループ名：下関市立大学 都市農村交流活性化研究グループB)

活動年月日 (活動場所)	活動状況 (参加者数)
7月2日(土) 油谷後畑地区 (宇津賀多目的交流館) 青海地区 (青海島共和国) 渋木地区 (旧大畑児童館) 俵山地区 (俵山里山ステーション)	「長門市の活動の全体の打ち合わせ」 下関市立大学の関係では、長門市の都市農村交流活動に関して、油谷後畑地区をはじめ、青海地区、渋木地区、俵山地区、通地区の活動に係わっており、代表者が各地区を回って今後の活動内容等について打ち合わせを行った。 (参加者：学生3名、教職員2名、県・市職員同行)
7月21日(木) (長門市役所、 青海島)	「今後の活動についての打ち合わせ」 7月26～29日に受け入れる「子ども農山漁村交流プロジェクト」、および11月に受け入れる「体験型修学旅行」などの支援に向けて、現地の人たちと顔合わせをするとともに、打ち合わせを行った。 また、長門市長への表敬訪問も行った。 (参加者：学生10名、教職員3名)
9月4日(日) (長門市後畑)	「後畑地区の棚田の視察と今後の作業の打ち合わせ」 後畑地区の棚田を視察するとともに、後畑地区の概略と地形についての調査、及び後畑営農組合の活動内容についての聞き取り調査を行った。 また、9月9日の防除作業についての打ち合わせも行った。 (参加者：学生3名、教員2名)
9月9日(金) (長門市後畑)	「防除作業」の支援 後畑営農組合が保有する水田、近隣住民が所有する水田と柿の木の防除作業の手伝いを行った。作業は午前と午後に分けて行われ、小休憩と昼食を挟みながら4時間を要した。作業内容は、防除作業で使われるホースの沿線上に等間隔で並び、散布者の動きに合わせてながらホースが絡むのをふせぐことであった。作業後は打ち上げ会が行われ、作業に関わった住民との親睦を深めた。 (参加者：学生4名、教員1名)
11月23日(水・祝) (長門市後畑)	「交流センターの周辺の生垣の間引き、草刈り作業」の支援 交流センターの周辺の生垣がぎっしり生えていたため、地域住民と間引き、草刈り作業を実施した。樹高約3メートルの木を全部で20本ばかり間引きをし、周辺の草刈も行った。午前中の作業終了後、地域住民と食事を共にし、交流した。 (参加者：学生6名、教職員3名)

<p>12月10日(土)～ 11(日) (長門市後畑)</p>	<p>「宇津賀多目的交流館(旧宇津賀保育所)広場の整備」の支援 11月23日に引き続き、宇津賀多目的交流館(旧宇津賀保育所)にある広場の整備を行った。 間伐して乾燥させておいた広場の植木を焼却する作業が主であり、植木15本を焼却、作業は消火確認まで7時間を要した。一部のメンバーは、前回、やり残しになっていた広場の植木の剪定を行った。昼食は地元住民の方々が朝から仕込んだカレーをいただき、午後、引き続き広場の植木の焼却作業を行った。広場の草刈りと燃え残った小枝などの焼却を行い、安全の範囲で炭となった木々が燃えるのを確認して作業を終えた。 翌日は、宇津賀多目的交流館(旧宇津賀保育所)にある藤棚の整備とその麓にある藪の除草を行った。 (参加者：学生9名、教職員3名)</p>
<p>1月29日(日) (長門市後畑)</p>	<p>「東後畑地区調査」の実施 雨天のため、本来予定をしていた草刈を行うことが出来なかったため、東後畑地区の棚田について聞き取り調査を行った。 棚田の耕作状況と同地区の農業経営について調査し、地区内のような場所に耕作放棄地が存在しているのか視察を行った。 また、同地区の農業経営について、歴史的な側面から農業をどのように行ってきたのかを聞き取り調査した。 (参加者：学生3名、教職員1名)</p>
<p>2月4日(土) (長門市後畑)</p>	<p>「東後畑地区調査」の実施(2回目) 1月29日に引き続き、聞き取り調査を実施した。営農組合の様子や活動目的、東後畑地区の概況を調査した。 また、前回、調査しきれなかった棚田の耕作状況を調査した。 (参加者：学生2名、教職員1名)</p>
<p>2月18日(土) (長門市後畑)</p>	<p>「棚田の野焼き」の支援 東後畑営農組合が所有している休耕田において、野焼きの補助を行った。 午前中は地区の南西部に位置する休耕田で野焼きを行った。補助の内容は、野焼きの火の見張りである。見張りといえども、近隣の藪に延焼することを防ぐための見張りなので、藪に火が少しでも近づけば、すぐさま火を消さなくてはならない。下関市立大学からの参加者は大半が初心者のため、当初は延焼する火の対応に追いつかず苦労をしていた。火をつける作業を取り上げても、火のつけ方、着火点とタイミングが要求されるため熟練者でなければ難しい面があった。 昼食を取った後、地区の北西部に位置する休耕田で野焼きを行った。午後からは天候が雪に変わり、時々降る雪の中作業を行った。作業内容は午前中と同様、野焼きの火の見張りとは火の着火である。加えて、水路に溜まった泥や草などを取り除く作業も行った。 (参加者：学生5名、教職員2名)</p>

	<p>「アストラゼネカ社アンケート調査」の実施 アストラゼネカ社が東後畑地区で行ってきたボランティア活動について、参加した社員17名にアンケートを行った。 ボランティア活動しての感想と、ボランティア活動を踏まえて、どのような農作業を支援していきたいか、地域の人々とどのような交流を行いたいかを調査した。 大阪本社のボランティア活動を取りまとめる部署に問い合わせを行った後に、紙面にて聞き取りを行った。</p>
<p>3月18日(日) (長門市後畑)</p>	<p>「活動報告会」の開催 宇津賀多目的交流館(旧宇津賀保育所)において、東後畑地区の活動報告会を開催した。報告会では、これまでの活動の紹介と活動成果、学生が体験して気づいた点、取り組みにおける課題点、そして農業体験型企業研修プログラム案などが発表された。 発表後は出席者から質問が飛び交い、活動を受け入れる地域の方々と、活動を行う学生とでは考え方や意見が異なることが浮き彫りとなった。 意見交換会後は、出席した地域の方々と共に交流会を行った。 今まで御世話になった御礼として、学生達が長門の食材をふんだんに使ったパエリアを地域の方々に振舞った。地域の方々と食を共にしながら意見交換を交え、親睦を深めた。 (参加者：学生4名、教職員2名)</p>